

科目名	専攻科ゼミナール Advanced Seminars	科目コード	A3030
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学専攻・2年（プログラム4年）
担当教員	環境都市工学科全教員
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習30, 実験0, その他0】
教科書	
補助教材	
参考書	

### 【A. 科目の概要と関連性】

専攻分野における特定のテーマについて、指導教官の下で文献講義を行い、実験や解析、理論の展開、命題の導出などを行う方法について学習する。教材には外国語文献などを用い、外国語の能力を養成するねらいもある。

○関連する科目：環境都市工学特別研究（専攻科1, 2年履修）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①特別研究に関連した学術論文を収集する方策を習得する	20%	(G2)
②文献学習作業の方法と研究レビューの作成術を習得する	40%	(G1)
③文献で得た情報と各自の特別研究テーマ関連つけて分かりやすく説明する技術を習得する	40%	(G1,G2)

### 【C. 履修上の注意】

特別研究の指導教官の下で、【E. 授業計画・内容】を十分に理解して履修してください。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（60%）【文献一覧20%, 研究レビュー40%】
- その他40%【研究室での論文解説（発表）40%】

## 【E. 授業計画・内容】

### 1. 受講者は、以下の活動をおこなう：

- ① 別研究に関連した学術論文等を収集し（収集する論文等のなかには、英文で執筆されたものを含むことが望ましい）、文献の一覧を作成する。また、研究室内で開催される研究会等（以下、研究会等と呼ぶ）において、収集活動に関する中間報告（随時）と最終報告をおこなう。
- ② 集めた論文等を教材として文献学習をおこない、研究レビューを作成する。
- ③ 研究会等において、4、5年生を含む研究室のメンバーに文献学習の結果を紹介する。結果の紹介は、個々または複数の論文等について随時おこなうものとし、紹介する内容を述べた文書（発表概要）を準備する。
- ④ 期中は、所定の書式（様式1）を用いて以上の活動に要した時間を記録する。また、学期末には（最終の研究会等で）、自分がおこなった活動とその成果について報告する。

### 2. 受講者は、次の文書を作成する：

- ① 収集した論文等の一覧（1件）  
最終報告の資料として作成する；書式は、研究室ごとの慣例に従う。
- ② 研究レビュー（1件）  
最終報告の資料として作成し、最終報告での配付資料とする；書式や分量は、研究室ごとの慣例または指導教員の判断に従う。
- ③ 研究会等で文献学習の成果を紹介する発表概要（任意の件数）  
学期中に随時おこなう発表ための配布資料として準備する。文書の中には、論文等の出典を「著者、論文題名、誌名、巻・号・頁、出版年」によって明示する。
- ④ 活動の報告書（1件）  
所定の書式（様式1）を使って作成し、最終報告の資料とする。様式1は、学科のホームページから取り出す。

### 3. 受講者は、作成した文書を所定のフォルダに保存する。

受講者が文書（項目2の①から④まで）を作成したときは、所定の場所に保管するフォルダに、そのコピーをファイルする。フォルダの保管場所は、3階のリフレッシュ・コーナーとする。